



夢追人VI

かとう学園 宗像市立河東中学校
学校通信第5号(R4. 4. 22)

体育祭ブロックリーダー任命式を行いました



<ブロック長紹介>

13日(水)理科室で、体育祭のリーダーとなる実行委員長・ブロック長・ブロックリーダーの任命式を行いました。9年生の各クラスから男子女子各1名ずつブロック長が選抜され、これからおよそ1か月あまりで100人を超える人数のブロックをまとめていきます。ブロック長を中心にブロックリーダー6名、音響係、太鼓係を中心にブロックコンクールのパフォーマンス等を作っていきます。どのブロックもリーダーを中心にまとまり団結を深めていきましょう。そして、人と力を合わせ協力する喜びを感じとっていきましょう。

赤	緑	青	黄	白	桃
島田 友喜	綿島 司	青木 汰輝	井上 太貴	満川 脩	月川 柚希
戸田 結月	吉村 幸音	角田 冴那	塩川 天寧	権田 花音	柳 結梨

体育祭実行委員長のメッセージ

進路説明会でお話しましたように、実行委員長には、県立入試の国語大問4の字数200~240字で書いてもらいました。



【第37代体育祭実行委員長 網脇 尚政さん】

この度、体育祭実行委員長になりました網脇尚政です。僕たち9年生は、中学校生活最後の体育祭となります。だから、しっかりとすることはしっかりする、楽しくするところは楽しくする。メリハリをしっかりとつけていきたいです。また、最後の体育祭になるということは、下級生を引っ張っていく立場なので、体育祭の時だけでなく、日頃の生活からしっかりしていきたいです。この体育祭では極力先生方の力を借りずに自分たちが中心となって行っていきたいと思います。

【第37代体育祭実行委員長 和多 こはくさん】

この度、体育祭実行委員長に任命されました。ここまでさまざまな行事に制限がかかる中、今年もこのような形で体育祭が行われることに感謝でいっぱいです。「最高の体育祭」をつくるために、私は河東中全員の個性を集結し、団結することが大事だと思っています。きっとこの中にはテーマにあるように先駆者となり動く人がいると思います。しかし、わずかな人数では成功と言えないと思います。みんなの力を合わせて創りあげましょう。今までにない新しい体育祭を目指して、私も一生懸命頑張ります。



飼いならされた野鴨（やがも）になるな！ ～デンマークのキルケゴールが残した野鴨の話～

野鴨（やがも）を見たことがありますか？

野鴨は、飲まず食わずで何日も飛び続けることができる能力を持った渡り鳥です。

野鴨は、数千キロを飛ぶことができるたくましい鳥です。

ニュージーランドから日本までを約1週間で飛んでくるそうです。

デンマークのキルケゴールという人が、野鴨について興味深く教訓に満ちた話を残している
ので紹介します。

デンマークのジールランドという島に美しい湖があります。その湖には、毎年遠くから野生の鴨の群れがやってきます。ある年、やさしいおじさんがいて、おいしいえさを野鴨たちに毎日毎日あげるようになりました。渡り鳥である野鴨は、本来、湖に住みつくことはありません。ある季節を過ごし、えさを求めて飛び立つのが普通ですが、鴨たちは苦労せずにえさをもらえるこの湖に安心して住むようになりました。



時が流れ、次の湖に飛び立つ季節になりました。しかし、野鴨たちはこう考えました。毎日毎日、おいしいえさがもらえるならここにいたほうがいだろう。そして、野鴨たちはそこに
いることに決めました。この美しい湖に永住することにしました。

一年が経ち、二年が過ぎました。

ある日、そのやさしいおじさんは高齢のため亡くなってしまいました。

えさをもらえなくなった鴨たちはあわてます。そして、えさを求めて飛び立とうとしますが、
快適な環境に慣れ、野生の羽ばたきができません。

春になり、周囲の山から大量の雪解け水が激流となって湖に流れ込みました。他の鳥たちは
わけなく飛び立ちますが、飼いならされた野鴨たちは、押し流されて命を失ってしまいました。

この野鴨の話で、キルケゴールが伝えたかったことは何でしょうか？

野鴨はたとえて、人に置き換えて考える必要があります。人も与えられることに慣れるのは
危険だということです。誰かに何かをやってもらうのではなく、自分でやらなければいけない
ことを言っています。つまり、自立の大切さです。

中学生で言うと、勉強や部活動・クラブチームで、先生や先輩に言われて動くのではなく、
自分で何をすべきかを考えることが大切です。それは、これから始まる体育祭の練習でもそう
です。人から言われて動くのではなく、自分で考えて動くことが大切です。

野鴨のように、えさを与えられて生きると退化してだけでなく、危険にさらされます。
本来の野生の鴨のように自分でえさを探することで、数千キロを飛ぶような能力を発揮し磨きを
かけることができます。

実は、コンピュータで世界的に有名な IBM という会社をつくったトーマス・ワトソンは、
この話を社員によくしたそうです。彼は「Wild Ducks(野生の鴨であれ)」という合言葉で、
社員に現状に満足せず、常にチャレンジすることを進めました。